

第34回原産年次大会プログラム

基調テーマ：21世紀の原子力 地球、エネルギー、環境の保全のために

開催日：平成13年4月24日（火）～27日（金）

場所：青森市文化会館 大ホール、六ヶ所村文化交流プラザ 大ホール

	4月24日（火）	4月25日（水）	4月26日（木）	4月27日（金）
午前	<u>テクニカルツアー</u> （4コース） 24日朝集合 ・六ヶ所原子燃料 サイクル施設 ・東通原発・六ヶ 所PRセンター ・大間原発・むつ 科学技術館 ・竜飛ウインドパ ーク・三内丸山 遺跡	<u>開会セッション</u> （9:10～10:15） 吉田大会準備委員長挨拶 西澤原産会長所信表明 藤家原子力委員長所感 町村文部科学大臣所感 青江文部科学審議官代読 河野経済産業省資源エネ ルギー庁長官挨拶 ----- 特別講演（10:15～12:10） 木村青森県知事講演 IMA*ダイ IAEA 事務局長 ロベール・ヨシ COGEMA 社長 R.ローズ氏（作家）	<u>セッション2</u> 「原子燃料サイクル施設の ある日英仏3地域から、 世界へ」 （9:00～10:20） バスで移動 10:40 発 （六ヶ所原子燃料サイクル 施設の概観見学（約30分） 後、六ヶ所村文化交流プラ ザへ）	<u>セッション5</u> 「電力自由化の中で 再評価される原子力」 （9:00～11:00）
		<u>三内丸山遺跡での 記念植樹</u> （15:30～16:30） 木村知事、藤家原 子力委員長、西澤 原産会長、吉田準 備委員長、太田電 事連会長、安部原 産副会長、佐々木 原燃社長、佐々木 東奥日報社長、海 外からの代表らが 参加	午餐会（12:30～14:30） （ホテル青森「孔雀の間」） ----- 原子力映画上映 （13:30～14:30）（大ホール） ----- 原子力を考える若い世代 のフォーラム （12:30～14:30）（4階）	<u>セッション3</u> 「使用済み燃料再処理技術 はいかにして確立したか 各国の建設と運転経験」 （14:00～15:40） （六ヶ所村文化交流プラザ）
昼			昼食 （13:10～14:00）	フェアウェル・ピュフェ （13:00～14:00） （5階大会議室）
			<u>セッション1</u> 「原子力 地球環境に なぜ必要か」 （14:50～17:30）	
午後				
				登録（17:00～） <u>レセプション</u> （18:30～20:00） （ホテル青森 「孔雀の間」）
夜				

〔第1日 4月24日(火)〕

レセプション(18:30~20:00)

於：ホテル青森 3階 「孔雀の間」

〔第2日 4月25日(水)〕

開会セッション(9:10~12:10)

議長

太田宏次	電気事業連合会会長
大会準備委員長挨拶	
吉田豊	弘前大学学長
原産会長所信表明	
西澤潤一	(社)日本原子力産業会議会長
原子力委員長所感	
藤家洋一	原子力委員会委員長
町村文部科学大臣所感代読	
青江茂	文部科学省文部科学審議官
経済産業省挨拶	
河野博文	経済産業省資源エネルギー庁長官

〔特別講演〕

議長

西岡喬	三菱重工業(株)社長
木村守男	青森県知事 「原子力開発と地域発展」
M.エルバラダイ	国際原子力機関(IAEA)事務局長 「原子力発電：展開するシナリオ」
A.ローベルジョン	仏核燃料公社(COGEMA)会長兼社長 「フランスの原子力開発と国際戦略」
R.ロズ	ピューリッツァー賞受賞米国作家 「文明と原子力開発の意義」

午餐会 (12:30~14:30)
於：ホテル青森 「孔雀の間」

青森市長挨拶
佐々木 誠 造 青森市長

〔特別講演〕

佐 原 真 国立歴史民俗博物館館長
「縄紋人と私たち」

原子力関係ビデオ映画(日本語)の放映 (13:30~14:30)

- ・「原子燃料サイクルの確立を目指して ~日本のリサイクルエネルギーは青森から生まれていく」(30分)
- ・「未来への選択 なぜ地層処分か」(20分)
- ・「巨大地震に耐える第13部 ~鉄筋コンクリート製原子炉格納容器(RCCV)耐震実証試験」(22分)

原子力を考える若い世代のフォーラム (12:30~14:30)

於：青森市文化会館 4階中会議室

〔コーディネーター〕

土 屋 智 子 (財)電力中央研究所 経済社会研究所主任研究員
植 松 眞 里・マリアンヌ (社)日本原子力学会 原子力青年ネットワーク
連絡会(YGN)運営委員代表

セッション1 (14:50~17:30)

「原子力 - 地球環境になぜ必要か」

議 長
秋 元 勇 巳 三菱マテリアル(株)会長

〔基調講演〕

森 鳶 昭 夫 (財)地球環境戦略研究機関理事長
「地球温暖化対策」

〔パネル討論〕

宮 本 一 関西電力(株)副社長
A . ハ ワ ー ド 米国原子力エネルギー協会(NEI)上級副理事長

李 東 暉 中国国家原子能機構(C A E A)副主任
L . エチャバリ 経済開発協力機構 / 原子力機関(O E C D / N E A)
事務局長
森 鳶 昭 夫 (財)地球環境戦略研究機関理事長

〔コメンテーター〕
J . ブシャール 仏原子力庁(C E A)原子力開発局長

市民の意見交換 (18 : 00 ~ 20 : 00)

「21世紀の原子力 - 地球、エネルギー、環境の保全のために」

於：青森市文化会館 5階大会議室

〔コ - ディネ - タ - 〕
米 澤 章 子 青森放送(株)報道局放送部長

〔第3日 4月26日(木)〕

セッション2 (9 : 00 ~ 10 : 20)

「原子燃料サイクル施設のある日英仏3地域から、世界へ」

〔コ - ディネ - タ - 〕
佐々木 高 雄 東奥日報社社長

〔コメンテ - タ - 〕
木 村 守 男 青森県知事〔前出〕

J . カニンガム 英国カンブリア県選出国會議員
(セラフィールド再処理工場)
P . グレゴワ - ル 仏ラ・マンシュ県知事
(ラ・アーク再処理工場)

セッション3 (14 : 00 ~ 15 : 40)

「使用済み燃料再処理の技術はいかにして確立したか - 各国の建設と運転経験」

於：六ヶ所村文化交流プラザ

議 長
鳥 井 弘 之 (株)日本経済新聞社論説委員

〔パネル討論〕

P. プラデル	仏核燃料公社(COGEMA)再処理事業部長
S. イオン	英国原子燃料会社(BNFL)研究開発部長
川口 昭夫	核燃料サイクル開発機構東海事業所再処理センター副センター長
大塔 容弘	日本原燃(株)六ヶ所本部再処理事業所再処理建設所副所長

セッション4 (16:00~19:00)

「サイクル事業と地域の共生を考える」

於：六ヶ所村文化交流プラザ

議長

松田 泰	(財)原子力発電技術機構理事長
------	-----------------

〔基調講演〕

橋本 寿	六ヶ所村長 「サイクル事業と地域の共生を考える」
------	-----------------------------

〔パネル討論〕

西川 正純	柏崎市長
村上 達也	東海村長
佐々木 正	日本原燃(株)社長
阿波田 禾積	青森公立大学経営経済学部教授
松尾 拓爾	六ヶ所村商工会会長
山口 成明	酪農家
中村 政雄	ジャーナリスト
橋本 寿	六ヶ所村長

村民との意見交換

議長

中村 政雄	ジャーナリスト〔前出〕
-------	-------------

〔第4日 4月27日(金)〕

セッション5 (9:00~11:00)

「電力自由化の中で再評価される原子力」

議長

勝 俣 恒 久 東京電力(株)副社長

〔スピーカ - 〕

N . アスキュー 英国原子燃料会社(B N F L)社長
「 B N F L の再編と新たな事業展開」
西 村 陽 学習院大学経済学部 前特別客員教授
「電力ビジネスの世界潮流と原子力の競争力」
N . ニューマーク ニューマーク・アソシエイツ代表
「米国の原子力発電業界にみる規制緩和の攻略」
A . トイボラ フィンランド・テオス・デ・ン・ボ・イ(T V O)電力会社特別顧問
「フィンランドの原子力発電戦略 - 新規建設をめざして」

セッション 6 (11 : 10 ~ 13 : 00)

「高レベル放射性廃棄物処分へのステップとその推進方策」

議長

森 鳶 昭 夫 (財)地球環境戦略研究機関理事長〔前出〕

〔基調講演〕

P . ベルナルル フランス原子力庁(C E A)原子力開発局原子力技術開発
本部長
「フランスにおける高レベル放射性廃棄物処分に関する
研究開発計画の最近の動向と今後の計画」

〔パネル討論〕

H . イ ス ラ スイス放射性廃棄物管理共同組合(N A G R A)理事長
D . ホ ー ト ン 米国エネルギー省(D O E)ユッカマウンテンサイト
調査プロジェクト次長
安 井 正 也 経済産業省資源エネルギー - 庁 電力・ガス事業部
原子力政策課 放射性廃棄物対策室長
外 門 一 直 原子力発電環境整備機構理事長
徳 山 明 富士常葉大学学長
石 橋 忠 雄 弁護士

フェアウェル・ピュフェ (13 : 00 ~ 14 : 00)

於： 5 F 大会議室